



三田市民病院 消化器内科

研修内容

病院の特色

部長の田中です。当院は三田市のみならず、丹波篠山市南部、西宮市北部、神戸市北部を含めた約20万人医療圏の中核病院になります。病床数は300床と中規模であり、専門科が少ないのが弱みですが、消化器科と循環器科に強みを持った臨床型の病院です。



診療科の特色

消化器内科は近隣からの紹介も多く、緊急から複雑性の高い処置まで六甲山北側の砦として、診断から治療まで当院で完結する心づもりで臨んでいます。教育指導にも力をいれ、目を届かせることを心掛けています。その甲斐もあり、当院での初期研修から消化器科を専攻する医師が毎年1-2人ずつ仲間に加わってくれています。卒後15年前後の医師が中心に臨床・指導を行っており、若くて活気のあるグループと自負しています。



診療実績（2022年度）

検査	件数	
EGD	4209件	
CS	2916件	
ESD	食道	24件
	胃	52件
	大腸	42件
EMR	胃	4件
	十二指腸	6件
	大腸	438件
ERCP	278件	
EUS (胆膵)		128件
	FNA	9件
肝臓癌治療	15件	

専攻医の声

こんにちは！医師5年目の大島です。三田市民病院で楽しく充実した研修生活を送っています。内視鏡は習熟度により丁寧な指導を受けながら手技に臨める為成長を実感しています。わからないことがあれば上の先生に気軽に相談できる環境なので、とても助かっています。検査治療件数は豊富で手技や症例の取り合いはありませんが若手が多く

業務は分担できカンファレンスや緊急を除けば残業は多くなく自分の勉強時間も確保できています。三田市民病院でみなさんと一緒に働けることを楽しみにしています。



メッセージ

上級医から

主に消化管疾患内視鏡診断、治療を指導しています池田です。ESDは例年120-140症例、ERCPIは270-280件と病院規模に比して多くの内視鏡治療症例があり多数の症例を主実施医として施行できるメリットは大きいと考えています。夜間休日に関してはオンコール体制を10名で分担しておりオンオフのはっきりとした職場だと若手から好評です。

まずは一度見学に来てもらい内視鏡の魅力をお伝えしたいので是非六甲山を越えてきてください。お待ちしております。

